

前夜祭24日・還御祭26日

7月25日(水)

弥彦 燈籠 まつり

とうろう

越後一宮
千年大祭

重要
無形民俗文化財

参加講中

彌彦神社氏子青年講
弥彦燈籠祭協賛会講
矢作講 桜井郷講
上泉講 弥彦ひかり講
袋津砂岡講 池の山講
吉江講 寺泊一乗講
野積神輿講
燈籠神事神輿奉戴の会



弥彦 燈籠まつり

とうろう

越後一宮
千年大祭

重要
無形民俗
文化財

越後一宮 彌彦神社に
千年の昔から伝わる

燈籠神事『弥彦燈籠まつり』は
彌彦神社最大の
賑わいを呈する夏の**大祭**。

以前は旧暦6月14日を中心に執行されており
ましたが、現代の時勢にあわせて昭和36年から現
行の7月25日中心に改められました。

7月25日の夜は県下各地の大燈籠講中から獻燈
の大燈籠と、地元氏子中より獻燈の小田楽燈籠
多数が、神歌楽・天犬舞の両舞童、宮司以下神
職、役員総代らの供奉する2基の御神輿を中心
にその前後に連なり渡御を展開します。

伶人の奏する道楽の音も賑々しく延々1キ口
以上の灯の大巡行は神社を出発し、町を2時間
余りにわたって一巡し、再び拝殿前に帰ります
が、拝殿前に特設された舞殿の周囲を大燈籠が
取り囲み、その中で一社古伝の秘曲神歌楽・天犬
舞が厳かに奉奏されて深夜にようやく終了し、
翌26日には還御祭が執行され、一切の神事の幕を
閉じることになります。

平成30年 スケジュール

12日…………… 舞童選定式
神歌楽・天犬舞の両舞童が決まり、本番ま
で練習に励みます。

18日…………… 御輿祭 素講

22日…………… 御慣し 花揃い
この日の夕刻、花飾りを終えた大燈籠が
拝殿前回廊に一堂に飾られます。

24日 [火]

18:50~19:50 民謡流し(町内)
20:00~21:20 前夜祭(ヤホール)

25日 [水]

9:00~10:00 大祭(大御膳献進)(拝殿)
9:30~11:30 燈籠駅伝大会(町内)
11:00~11:30 特別祈禱<1回目>(拝殿)
11:30~16:30 芸妓連、青年・子ども燈籠押し(町内)
14:00~15:00 里神楽奉納(仮舞殿)
15:00~15:30 特別祈禱<2回目>(拝殿)
15:30~16:30 里神楽奉納(仮舞殿)
16:30~17:00 剣舞・詩吟奉納(仮舞殿)
16:30~17:30 お櫛引<巡行路清祓>(町内)
19:00~19:30 大燈籠宿下り(神社~町内)
18:20~20:30 弥彦山松明大行進(山頂~町内)
県下山岳人により弥彦山頂より御神火をいた
だいて夫々松明を手へ下山する一大行進は弥彦の
火祭りとしても名物行事にあげられます。
※事前の参加申し込みが必要です。

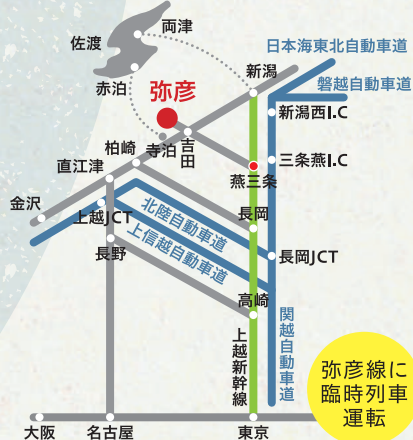
20:00~22:00 奉納花火大会
スターメイン打ち上げ(弥彦公園)

21:00~23:00 御神輿渡御
大燈籠巡行(町内)

23:00~23:30 神歌楽・天犬舞奉奏(仮舞殿)
町を一巡した大燈籠は夜半帰還し、拝殿前の特
設舞殿を取り囲む。その中で神歌楽、天犬舞が
奉奏され深夜に終了する。

26日 [木]

9:00~10:00 還御祭(拝殿)
12日に始まった神事も御神輿二基が納
められ夏の**大祭**が終了となる。



列車での所要時間

- 新幹線ご利用の場合
- 東京 ⇄ 燕三条 … 約1時間50分
 - 名古屋 ⇄ 燕三条 … 約4時間30分
 - 大阪 ⇄ 燕三条 … 約5時間30分
- ※燕三条駅から弥彦線で約20分
- 特急ご利用の場合
- 秋田 ⇄ 新潟 … 約3時間20分

車で所要時間

- 東京から(約300km) … 約4時間
- 長野から(約200km) … 約3時間
- 金沢から(約300km) … 約4時間
- 郡山から(約180km) … 約3時間
- 仙台から(約300km) … 約4時間
- 秋田から(約300km) … 約4時間
- 名古屋から(約450km) … 約6時間